

## 2026年版「外交青書」

## 中国「重要な隣国」に表現が後退

## 「安定した時代終焉」「中東安定に外交努力」の記述も

茂木外相が10日の閣議で2026版の「外交青書」を報告した。今回の青書は、中国の位置づけが大きく後退したことが最大の注目点になっている。

昨年11月、台湾有事に関する高市早苗首相の国会答弁を受け、関係が悪化する中国について「重要な隣国」と記述、25年版の「最も重要な2国間関係」から表現が後退した。高市首相による台湾有事に関する「存

立危機事態」の答弁と、それに伴う中国の威圧的行動の激化があるからだ。中国による日本への軍事行動や経済的威圧、SNS上での攻撃的な言動が、表現後退を後押しした、と青書には記述されている。だが、中国との「対話の扉は常に開いている」とし、共通の利益を追求する「戦略的互惠関係」の枠組みは維持されている。

# アジア経済新聞

ASIAN ECONOMIC NEWS

■ **ジャンル**: 国際(主にアジア太平洋地域) 国内 政治 経済 金融 環境 気候変動 再生エネルギー 建設 鉄鋼 製造 通信 スマートシティ 住宅・不動産 物流 テクノロジー 先端技術 外務省、国土交通省、経済産業省、国際協力機構(JICA)、JETRO、経済団体 オピニオン

■ **購読料**: 20,000円(年間)消費税込み

■ **発行元**: 一般社団法人海外インフラ研究協会 / アジア経済新聞

東京都港区北青山2-7-20 猪瀬ビル2F 電話: 080-4830-3330

代表理事 磯部猛也

■ **アジア経済新聞**: 編集責任者 千原直行

E-mail: [chihara.naoyuki@gmail.com](mailto:chihara.naoyuki@gmail.com)